

ワークショップ(案)

1. ワークショップ名

「子どもたちにとって望ましい学校のあり方を考えるワークショップ」

2. 開催の目的

長門市が現在進めている適正規模・適正配置審議会における議論の参考とするため、地域住民や保護者の皆様が、少子化が進む長門市における、将来の学校に期待する役割や姿について、広く意見を収集することを目的とする。学校のあり方を地域全体で考え、子どもたちにとってより良い教育環境を築くための第一歩とする。

3. 日時・場所

- 日時:2025年10月 日(曜日) 午後〇時～午後〇時(所要時間:120分以内)
- 場所:長門市役所 会議室
- 形式:対面

4. 参加者

区分	人数	備考
市内学校関係者(校長等)【グループワーク・ファシリテーター】	6名	校長会依頼
保護者代表	15名 ・小中:10名(みすゞ学園単位×2) ・幼保:5名(未就学児の保護者)	市P連に依頼 子育て支援課に依頼
生徒代表 (中学2・3年生)	6名(深川中2、その他各1)	学校推薦
学校運営協議会委員	5名程度(みすゞ学園単位)	学校推薦
地域住民	11名程度 ・自治会:5名程度 ・交流プラザ運営協議会:6名(仙崎、中央、俵山、三隅、日置、油谷)	学校運営協議会、自治会連合会、地域交流プラザに依頼
	43名程度	

※6グループ×7～8名

(各区分・地区バランスよくグループ分け)

5. ワークショップの内容

(1)テーマ(目的)

● 人口減少・少子高齢化が進む長門市において、子どもたちにとって望ましい学校とは(仮)

- 長門市では、地域総がかりで子どもたちを育てる環境整備に取り組んでいるが、今後、人口減少や少子高齢化がさらに進む中で、児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に加え、学校と地域が協働で行う取組の支え手である地域の人も減少していくことが予想される。

こうした状況を踏まえ、将来の長門市における教育や学校のあり方について、参加者ととも理解を深めたい。

(2)説明

- ①長門市小中学校の教育の状況
- ②長門市小中学校の児童生徒数の状況

(3)グループ討議

①オープニング(10分)

〈進行内容〉

- 挨拶と自己紹介: 主催者から簡単な挨拶と、ワークショップの目的や重要性を説明。
- 目的の共有: 「少子化が進む長門市の望ましい学校とは?」というテーマを設定し、参加者に何を目標しているのかを明確に伝える。
- アイスブレイク: 少し雑談を交え、参加者同士がリラックスできるようにする。

②現状分析と課題の洗い出し(20分)

〈進行内容〉

- グループディスカッション: 少子化に伴う問題点や課題をグループごとに洗い出し、共有する。

③望ましい学校像を描く(30分)

〈進行内容〉

- 個別ブレインストーミング: 各自で「望ましい学校」に関するアイデアを自由にメモ書きし、思いつく限りのアイデアを出す。
- グループ討議: 各グループで「望ましい学校像」を具体的に討議します。

(4)グループごとに出たアイデアを共有、発表。(30分)

各班 5分程度の発表